

明石市地域医療のあり方検討プロジェクトチーム
調査報告書（一部抜粋）

（推敲中）

目次(案)

はじめに

1. あり方検討プロジェクトチームの活動について ……

I. 明石市の地域医療について

(市の地域医療の現状把握及び将来推計等)

1. 国及び県の医療政策 ……
2. 明石市における医療提供体制調査 ……
3. 明石市における患者の疾病動向・受療動向調査 ……
4. 明石市における患者の将来医療需要推計 ……
5. 明石市における政策的医療の需給状況分析 ……
6. 明石市の医療的施策の実施状況 ……
7. 明石市における診療領域ごとの分析 ……
8. 調査のまとめ ……

II. 明石市立市民病院を取り巻く医療について

(市民病院を核とした地域医療の現状・将来需要等)

II-1 市民病院診療圏における地域医療提供体制

1. 診療圏における医療提供体制調査 ……
2. 診療圏における患者の将来医療需要推計 ……
3. 診療領域ごとの分析 ……
4. 調査のまとめ ……

II-2 市民病院の現状と課題

1. ベンチマーク設定について ……
2. 市民病院の現状と課題(医療機能面) ……
3. 市民病院の現状と課題(経営状況面) ……
4. 調査のまとめ ……

II-3 市民病院の病床・機能

1. 病院機能・診療領域及び役割分析 ……
2. 必要病床数の検証 ……

III. 明石市立市民病院の再整備について

(建物に関する調査検証等)

1. 建物の調査結果 ……
2. 整備手法別検討 ……
3. 経営面での影響 ……

IV. まとめ

IV-1 調査結果のまとめ

1. 明石市の地域医療について ……
2. 明石市立市民病院を取り巻く医療について
(市民病院診療圏における地域医療提供体制) ……
(市民病院の現状と課題) ……
3. 市民病院の施設・設備について ……
4. 市民病院の経営について ……

IV-2 課題整理

1. 明石市の地域医療について ……
2. 市民病院が担うべき役割及び医療機能 ……
3. 市民病院の施設・設備について ……
4. 市民病院の経営・市財政について ……

用語集 ……

I. 明石市の地域医療について

(市の地域医療の現状把握及び将来推計等)

1. 国及び県の医療政策

1. 国及び県の医療政策

(1) 医療政策の基本的考え方の変遷

社会保障制度改革国民会議 最終報告（2013年8月）

【医療提供体制の改革】

- 「病院完結型」から、地域全体で治し、支える「地域完結型」に転換
- 急性期医療を中心に人的・物的資源を集中投入し、早期の家庭復帰・社会復帰を実現するとともに、受け皿となる地域の病床や在宅医療・介護を充実
- 医療から介護へ、病院・施設から地域・在宅への観点から、医療・介護を一体見直し

【医療資源の計画的再編】

- 医療機能に係る情報の都道府県への報告制度（病床機能報告制度）を早急に導入
- 地域医療ビジョンを都道府県が策定
- 基金方式の財政支援で再編を推進

【医療給付の重点化・効率化】

- 中長期的に医療保険制度の持続可能性を高める観点から、引き続き給付を重点化・効率化
- 紹介状のない大病院の外来受診について、一定の定額自己負担を求める
- 後発医薬品の使用促進

社会保障制度改革法（プログラム法 2013年12月）

受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会保障制度の確立を図るため、医療制度、介護保険制度等の改革について①改革の検討項目、②改革の実施時期と関連法案の国会提出時期の目的を明らかにするもの

- 少子化対策
- 医療制度（病床機能報告制度の創設・地域の医療提供体制の構想の策定等による病床機能の分化及び連携、国保の保険者・運営等の在り方の改革、後期高齢者支援金の全面総報酬割、70～74歳の患者負担・高額療養費の見直し、難病対策等）
- 介護保険制度
- 公的年金制度

※ 医療サービスの提供体制、介護保険制度及び難病対策等については平成26年通常国会に、医療保険制度については平成27年通常国会に、必要な法律案を提出することを目指すとして規定

【改革推進体制】

上記の措置の円滑な実施を推進するとともに、引き続き、中長期的に受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会保障制度を確立するための検討等を行うため、関係閣僚からなる社会保障制度改革推進本部、有識者からなる社会保障制度改革推進会議を設置

医療・介護総合確保推進法（2014年6月）

【新たな基金の創設】

- 都道府県の医療・介護事業（病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進等）のため基金を設置

【地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保】

- 都道府県は、病床機能報告をもとに地域医療構想を医療計画で策定
- 地域医療構想に基づいて、病床機能を地域ごとに必要な数に再配置

【地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化】

- 全国一律の予防給付（訪問介護・通所介護）を地域支援事業に移行
- 特別養護老人ホームは中重度（要介護3以上）に重点化
- 低所得者の保険料軽減を拡充
- 一定以上の所得のある利用者の自己負担を2割へ引上げ
- 「補足給付」に資産要件追加

【チーム医療の推進】

- 特定行為を明確化し、看護師の研修制度を新設

【その他】

- 医療法人社団と医療法人財団の合併、持分なし医療法人への移行促進策を措置

I. 明石市の地域医療について

(市の地域医療の現状把握及び将来推計等)

2. 明石市における医療提供体制調査

2. 明石市における医療提供体制調査

(1) 明石市内の医療機関情報

明石市内に一般病床もしくは療養病床を保有する病院は19施設ある。

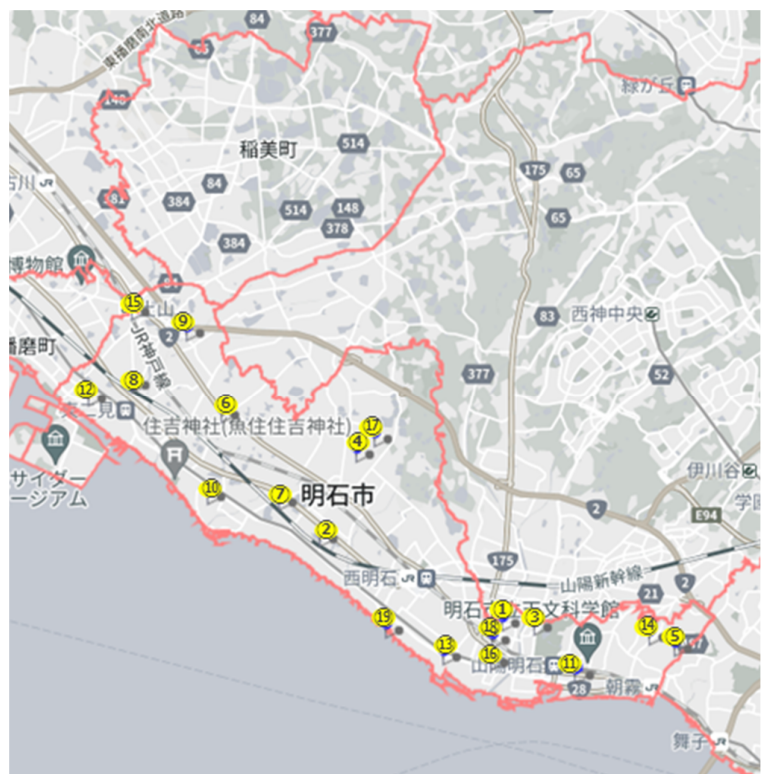
■ 明石市内の病院一覧

※一般病床もしくは療養病床を保有

NO.	施設名	許可病床数 (一般・療養)
1	兵庫県立がんセンター	400床
2	明石医療センター	382床
3	明石市立市民病院	329床
4	大久保病院	199床
5	明舞中央病院	199床
6	野木病院	198床
7	大西脳神経外科病院	172床
8	明石回生病院	155床
9	明石仁十病院	149床
10	西江井島病院	120床
11	石井病院	103床
12	明石リハビリテーション病院	103床
13	あさひ病院	100床
14	あさぎり病院	99床
15	明石同仁病院	99床
16	ふくやま病院	92床
17	神明病院	71床
18	王子回生病院	69床
19	明海病院	60床

■ 明石市内の医療機関分布状況

参照：病床機能報告 2021年度



I. 明石市の地域医療について

(市の地域医療の現状把握及び将来推計等)

3. 明石市における患者の疾病動向・受療動向調査

3. 明石市における患者の疾病動向・受療動向調査

(1) 患者流出状況調査

明石市のレセプトデータからみた入院患者について、市内完結率は74%である。
神戸市西区へは精神系、筋骨格系、周産期系、神戸市中央区へは周産期系及び先天奇形が流出傾向にある。

■ 国保レセプト・後期高齢者レセプトからみる入院患者流出状況（明石市）

※レセプト件数をもとに算出

傷病別	明石市	明石市立 市民病院	その他	東播磨 医療圏	神戸市 垂水区	神戸市 西区	神戸市 中央区	兵庫県内 その他	県外	総計 【件数】
①感染症及び寄生虫症	75%	14%	60%	7%	2%	9%	3%	4%	1%	554
②新生物	83%	14%	69%	5%	0%	1%	6%	3%	1%	4,282
③血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	83%	19%	64%	3%	1%	2%	4%	7%	0%	212
④内分泌、栄養及び代謝疾患	84%	9%	75%	4%	1%	4%	3%	2%	1%	1,412
⑤精神及び行動の障害	45%	0%	44%	8%	0%	34%	0%	11%	2%	3,686
⑥神経系の疾患	66%	2%	65%	5%	1%	10%	1%	14%	3%	2,840
⑦眼及び付属器の疾患	79%	16%	63%	2%	0%	4%	9%	6%	1%	763
⑧耳及び乳様突起の疾患	76%	40%	36%	4%	5%	4%	3%	6%	3%	80
⑨循環器系の疾患	82%	7%	75%	4%	1%	4%	3%	4%	1%	7,028
⑩呼吸器系の疾患	76%	11%	65%	3%	4%	10%	3%	4%	1%	2,330
⑪消化器系の疾患	84%	16%	68%	4%	2%	4%	3%	3%	1%	2,700
⑫皮膚及び皮下組織の疾患	67%	7%	59%	13%	1%	5%	6%	8%	0%	529
⑬筋骨格系及び結合組織の疾患	63%	5%	58%	6%	1%	17%	6%	6%	2%	2,650
⑭泌尿路生殖器系の疾患	81%	16%	66%	3%	2%	5%	3%	4%	1%	2,103
⑮妊娠、分娩及び産じょく	76%	0%	76%	6%	1%	5%	6%	3%	2%	110
⑯周産期に発生した病態	63%	4%	58%	2%	0%	10%	17%	6%	2%	48
⑰先天奇形、変形及び染色体異常	33%	12%	21%	9%	0%	2%	29%	26%	2%	58
⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69%	3%	66%	8%	1%	8%	1%	8%	4%	647
⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響	79%	12%	68%	5%	3%	5%	2%	4%	1%	4,476
総計	74%	9%	65%	5%	1%	9%	3%	6%	1%	36,508

参照：国保レセプトデータ及び後期高齢者レセプトデータ（2022年度）

青着色：明石市の領域別市内完結率のうち、総計の市内完結率よりも少ない箇所 緑着色：10%以上流出

I. 明石市の地域医療について

(市の地域医療の現状把握及び将来推計等)

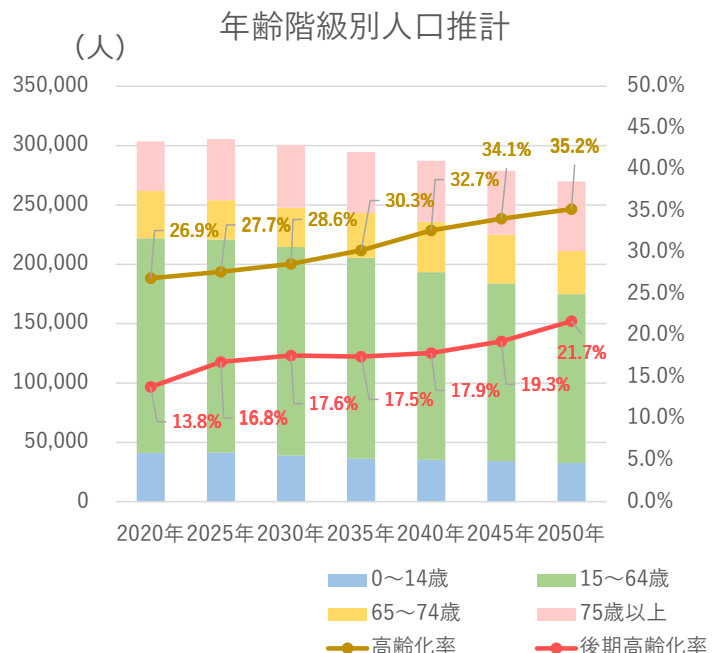
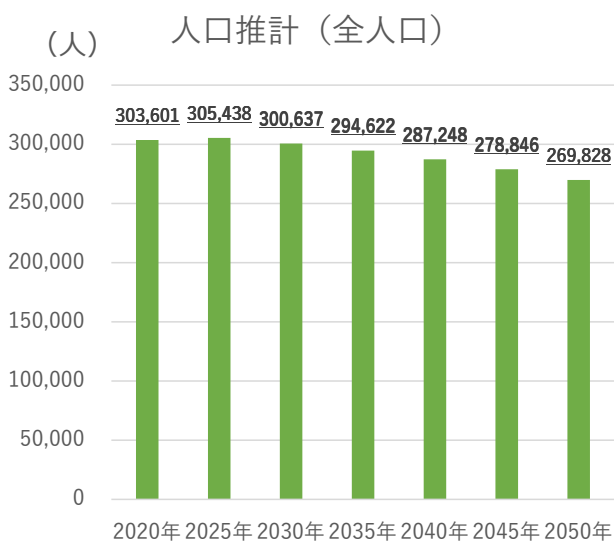
4. 明石市における患者の将来医療需要推計

4. 明石市における患者の将来医療需要推計

(1) 人口推計

総人口は2025年以降、減少傾向。
一方、高齢化率・後期高齢化率ともに2020年から2050年の間に約8%増加すると推計される。

■人口推計（明石市）



参照：男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口 2023年度推計』（国立社会保障・人口問題研究所）

4. 明石市における患者の将来医療需要推計

(2) 将来外来患者推計

明石市の外来患者数は2025年まで増加し、その後減少傾向に転じる。
傷病別にみると、神経系・循環器系が増加傾向にあり、
精神系・呼吸器系・皮膚系・妊娠・周産期系・先天奇形は減少傾向にある。

■ 疾患分類別外来患者推計（明石市）

※増減率減少：青色網掛（95%、90%、85%以下を区切りに濃淡）
増加率増加：オレンジ網掛（105%、110%、115%以上を区切りに濃淡）

傷病名	推定患者数							2020年からの増加率						
	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
①感染症及び寄生虫症	417	421	412	406	400	392	380	100%	101%	99%	97%	96%	94%	91%
②新生物	603	628	630	631	631	629	624	100%	104%	105%	105%	105%	104%	104%
③血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	53	53	52	52	50	49	48	100%	101%	100%	98%	95%	93%	91%
④内分泌、栄養及び代謝疾患	1,057	1,100	1,106	1,109	1,113	1,111	1,098	100%	104%	105%	105%	105%	105%	104%
⑤精神及び行動の障害	625	632	622	610	593	573	555	100%	101%	100%	98%	95%	92%	89%
⑥神経系の疾患	397	432	451	461	455	449	453	100%	109%	114%	116%	115%	113%	114%
⑦眼及び付属器の疾患	869	907	906	903	905	907	903	100%	104%	104%	104%	104%	104%	104%
⑧耳及び乳様突起の疾患	248	252	248	244	243	241	237	100%	102%	100%	99%	98%	97%	96%
⑨循環器系の疾患	2,141	2,333	2,424	2,480	2,488	2,495	2,523	100%	109%	113%	116%	116%	117%	118%
⑩呼吸器系の疾患	1,593	1,579	1,530	1,493	1,457	1,416	1,365	100%	99%	96%	94%	91%	89%	86%
⑪消化器系の疾患	3,106	3,164	3,124	3,085	3,056	3,012	2,938	100%	102%	101%	99%	98%	97%	95%
⑫皮膚及び皮下組織の疾患	743	745	732	721	705	686	665	100%	100%	98%	97%	95%	92%	89%
⑬筋骨格系及び結合組織の疾患	2,118	2,261	2,280	2,265	2,274	2,306	2,324	100%	107%	108%	107%	107%	109%	110%
⑭腎尿路生殖系系の疾患	776	802	801	796	789	781	770	100%	103%	103%	103%	102%	101%	99%
⑮妊娠、分娩及び産じょく	37	35	33	32	31	30	28	100%	96%	90%	86%	85%	82%	76%
⑯周産期に発生した病態	8	7	7	7	7	7	6	100%	91%	87%	86%	84%	80%	75%
⑰先天奇形、変形及び染色体異常	37	36	34	34	33	32	30	100%	97%	94%	92%	89%	86%	82%
※症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	191	197	197	196	193	190	188	100%	103%	103%	102%	101%	99%	98%
⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響	722	741	737	726	711	696	682	100%	103%	102%	101%	98%	96%	94%
⑳健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,711	1,750	1,733	1,720	1,709	1,690	1,660	100%	102%	101%	101%	100%	99%	97%
計	17,450	18,076	18,060	17,969	17,840	17,692	17,477	100%	104%	103%	103%	102%	101%	100%
計（精神及び行動の傷害のぞく）	16,825	17,444	17,438	17,360	17,247	17,119	16,923	100%	104%	104%	103%	103%	102%	101%

※疾患の分類は、世界保健機構（WHO）が作成した国際統計上の分類（ICD10疾患分類）に基づく。

参照：患者調査 2017年度（厚生労働省）、男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口 2023年度推計』（国立社会保障・人口問題研究所）

4. 明石市における患者の将来医療需要推計

(3) 将来入院患者推計

明石市の入院患者数は2035年まで増加し、その後減少傾向に転じる。ほとんどの傷病で2020年よりも増加し、特に呼吸器系の増加率が高くなる見込み。
一方、妊娠・周産期・先天奇形は減少傾向にある。

■ 疾患分類別入院患者推計（明石市）

※増減率減少：青色網掛（95%、90%、85%以下を区切りに濃淡）
増加率増加：オレンジ網掛（105%、110%、115%以上を区切りに濃淡）

傷病名	推定患者数							2020年からの増加率						
	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
①感染症及び寄生虫症	49	55	60	62	61	61	62.1	100%	113%	122%	127%	125%	124%	127%
②新生物	346	370	381	388	389	390	392.3	100%	107%	110%	112%	113%	113%	114%
③血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	14	16	17	18	18	18	18.3	100%	114%	123%	130%	128%	126%	129%
④内分泌、栄養及び代謝疾患	81	91	99	104	103	101	103.2	100%	113%	122%	129%	127%	125%	128%
⑤精神及び行動の障害	597	624	635	640	634	621	610.7	100%	105%	106%	107%	106%	104%	102%
⑥神経系の疾患	307	348	373	387	382	378	388.8	100%	113%	122%	126%	124%	123%	127%
⑦眼及び付属器の疾患	28	30	30	30	31	31	31.9	100%	107%	108%	108%	110%	112%	114%
⑧耳及び乳様突起の疾患	6	7	7	7	7	7	6.9	100%	106%	109%	111%	111%	110%	109%
⑨循環器系の疾患	559	646	708	754	747	736	758.2	100%	116%	127%	135%	134%	132%	136%
⑩呼吸器系の疾患	246	291	324	353	347	340	353.4	100%	118%	132%	144%	141%	138%	144%
⑪消化器系の疾患	161	178	188	194	193	191	194.1	100%	111%	117%	120%	119%	118%	120%
⑫皮膚及び皮下組織の疾患	28	32	34	36	36	35	36.1	100%	114%	124%	130%	128%	126%	130%
⑬筋骨格系及び結合組織の疾患	173	192	202	208	207	207	210.8	100%	111%	117%	120%	120%	119%	122%
⑭腎尿路生殖系系の疾患	124	140	151	158	157	155	159.5	100%	113%	121%	127%	126%	125%	129%
⑮妊娠、分娩及び産じょく	45	43	40	39	38	37	34.0	100%	96%	90%	86%	85%	82%	76%
⑯周産期に発生した病態	20	18	17	17	16	16	14.9	100%	90%	87%	86%	84%	80%	75%
⑰先天奇形、変形及び染色体異常	14	14	13	13	12	12	11.2	100%	96%	92%	90%	87%	83%	79%
※症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	35	40	45	48	47	46	47.4	100%	116%	129%	138%	136%	132%	137%
⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響	334	382	415	436	431	425	436.5	100%	115%	124%	131%	129%	127%	131%
⑳健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	29	31	32	33	32	32	31.7	100%	107%	111%	113%	111%	110%	110%
計	3,194	3,549	3,771	3,926	3,889	3,839	3,902	100%	111%	118%	123%	122%	120%	122%
計（精神及び行動の傷害のぞく）	2,597	2,925	3,136	3,286	3,255	3,218	3,291	100%	113%	121%	127%	125%	124%	127%

※疾患の分類は、世界保健機構（WHO）が作成した国際統計上の分類（ICD10疾患分類）に基づく。

参照：患者調査 2017年度（厚生労働省）、男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口 2023年度推計』（国立社会保障・人口問題研究所）

Ⅱ. 明石市立市民病院を取り巻く医療について

(市民病院を核とした地域医療の現状・将来需要等)

Ⅱ-1. 市民病院診療圏における地域医療提供体制

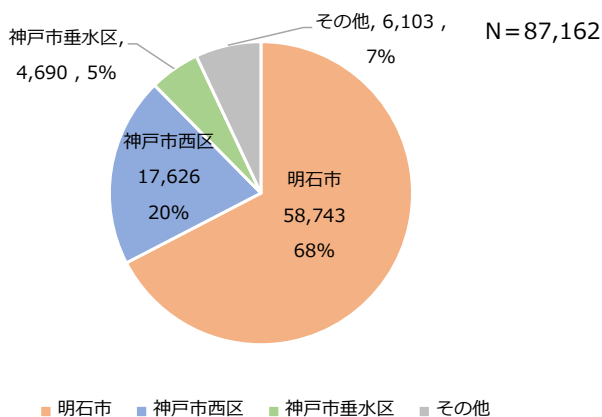
1. 診療圏における医療提供体制調査

1. 診療圏における医療提供体制調査

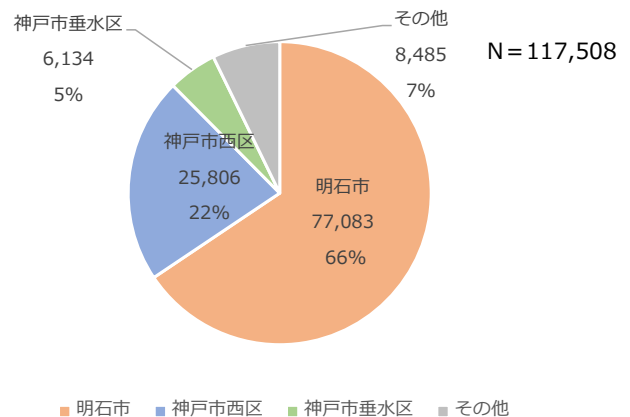
居住地別患者数（明石市立市民病院）

明石市立市民病院入院患者の居住地は、68%が明石市、20%が神戸市西区、5%が神戸市垂水区。
 外来患者の居住地は、66%が明石市、22%が神戸市西区、5%が神戸市垂水区。
 明石市立市民病院の外部環境調査を実施する上での診療圏は明石市、神戸市西区、神戸市垂水区と設定する。

■居住地別延べ患者数（入院）



■居住地別延べ患者数（外来）



**明石市内
68%**

**明石市 + 神戸市西区 + 神戸市垂水区
93%**

**明石市内
66%**

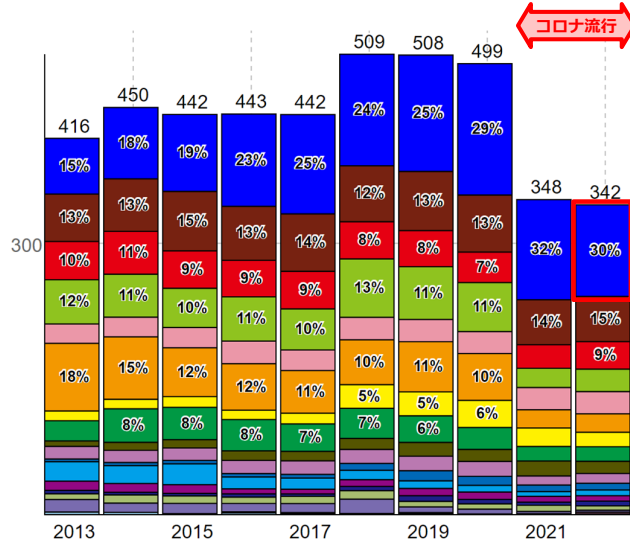
**明石市 + 神戸市西区 + 神戸市垂水区
93%**

1. 診療圏における医療提供体制調査

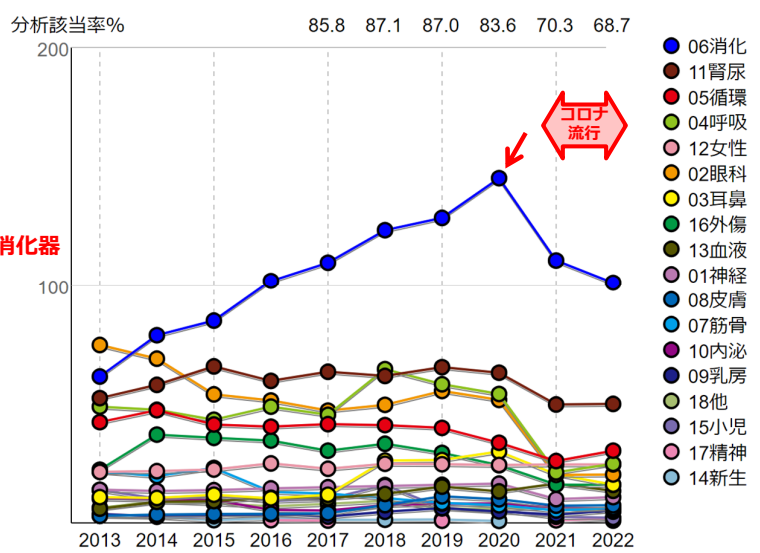
(5) 入院患者数と疾病の割合 (明石市立市民病院)

明石市立市民病院の入院患者数を疾患分類別にみると、コロナ禍までは消化器系や呼吸器系の患者数の伸びがみられた。コロナ禍において、前述の疾患に加えて、眼科系の患者数は減少している。それ以外の疾患については大きな変動はみられない。

■ 明石市立市民病院における入院患者の疾病割合 (MDC分類)



■ 明石市立市民病院における入院患者数の推移 (MDC分類)



参照：DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」 2013年度～2021年度 厚生労働省

〔MDC分類〕ICD10疾患分類（世界保健機構が作成した国際統計上の分類）に基づく18の主要診断群

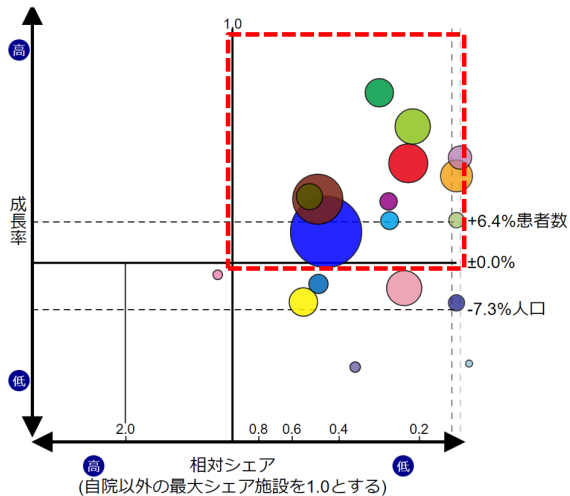
1. 診療圏における医療提供体制調査

(5) 入院患者数及び診療科目ごとの割合 (明石市立市民病院)

明石市立市民病院の疾病領域を市場の成長率と相対シェアの2軸で分析 (PPM) すると、相対シェアは各領域で高くなく、競合が多い状況である。

その中で、腎尿路系・循環器系・呼吸器系・眼科系・外傷系・血液系・神経系・筋骨格系・内分泌系・その他に関しては、市場の成長率増加率は高い領域となっている。

■ 明石市立市民病院におけるMDC分類の分析



No.	名称	退院患者数	市場成長率	相対シェア	資源	施設数
1	06消化	101	+4.8%	0.45	44.8万	24
2	11腎尿	50	+9.9%	0.48	38.4万	19
3	05循環	30	+15.5%	0.22	102.8万	19
4	04呼吸	25	+21.2%	0.21	41.5万	23
5	12女性	25	-3.9%	0.23	59.9万	9
6	02眼科	20	+13.6%	0.15	24.5万	6
7	03耳鼻	16	-6.1%	0.54	29.9万	16
8	16外傷	16	+26.5%	0.28	60.8万	26
9	13血液	14	+10.3%	0.51	106.4万	10
10	01神経	11	+16.4%	0.09	62.8万	17
11	08皮膚	7	-3.3%	0.48	14.3万	12
12	07筋骨	6	+6.6%	0.26	45.7万	18
13	10内泌	6	+9.6%	0.26	40.1万	19
14	09乳房	5	-6.2%	0.15	41.6万	5
15	18他	5	+6.7%	0.15	73.1万	10
16	15小児	2	-16.3%	0.35	14.7万	3
17	17精神	2	-1.9%	1.10	0.7万	4
18	14新生	1	-15.7%	0.02	21.5万	5

※成長率：病院毎の疾患別(6桁)に患者数実績×将来増減率を加重平均し1患者当たりで算出。
 将来推計率：地域・年齢・疾患別に将来推計患者数÷現在推計患者数で算出。人口推計値は2018年推計の値
 縦軸右側「患者数」：現在を100%とした場合の将来患者数の増減率
 縦軸右側「人口」：現在を100%とした場合の将来人口の増減率
 ※相対シェア：1.0付近を強調する為、対数処理等を加えて横軸にプロット。
 地域内にベンチマーク施設がない場合は1.0とする。
 ※施設数：対象疾患が存在する場合のみカウントする
 ※資源：資源ポテンシャル (件当り相当)

参照：DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」 2021年度 厚生労働省

〔MDC分類〕ICD10疾患分類（世界保健機構が作成した国際統計上の分類）に基づく18の主要診断群

Ⅱ. 明石市立市民病院を取り巻く医療について

(市民病院を核とした地域医療の現状・将来需要等)

Ⅱ-1. 市民病院診療圏における地域医療提供体制

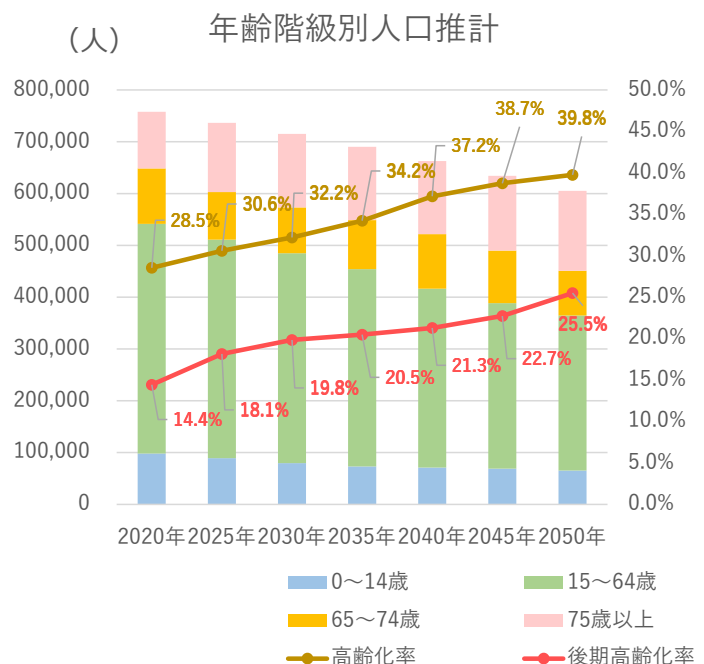
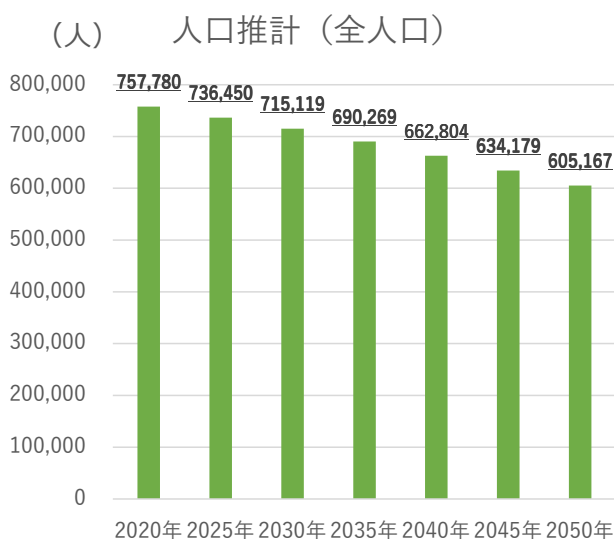
2. 診療圏における患者の将来医療需要推計

2. 診療圏における患者の将来医療需要推計

(1) 人口推計

総人口は2020年以降、減少傾向。
一方、高齢化率・後期高齢化率ともに2020年から2050年の間に約11%増加すると見込まれる。

■人口推計（診療圏）



参照：男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口』（国立社会保障・人口問題研究所）

2. 診療圏における患者の将来医療需要推計

(2) 将来外来患者推計

診療圏の外来患者数は2025年まで増加し、その後減少傾向にある。

傷病別にみると、神経系・循環器系が増加傾向にあり、感染症・血液系・精神系・呼吸器系・皮膚系・妊娠・周産期系・先天奇形は減少傾向にある。

■疾患分類別 外来患者推計（診療圏）

※増減率減少：青色網掛（95%、90%、85%以下を区切りに濃淡）
増加率増加：オレンジ網掛（105%、110%、115%以上を区切りに濃淡）

傷病名	推定患者数							2020年からの増加率						
	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
①感染症及び寄生虫症	1,037	1,008	976	951	925	895	857	100%	97%	94%	92%	89%	86%	83%
②新生物	1,563	1,608	1,608	1,592	1,565	1,533	1,494	100%	103%	103%	102%	100%	98%	96%
③血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	132	129	126	123	118	115	111	100%	98%	95%	93%	90%	87%	84%
④内分泌、栄養及び代謝疾患	2,745	2,827	2,837	2,818	2,785	2,728	2,640	100%	103%	103%	103%	101%	99%	96%
⑤精神及び行動の障害	1,562	1,528	1,485	1,437	1,377	1,312	1,253	100%	98%	95%	92%	88%	84%	80%
⑥神経系の疾患	1,028	1,099	1,150	1,181	1,165	1,140	1,132	100%	107%	112%	115%	113%	111%	110%
⑦眼及び付属器の疾患	2,237	2,304	2,304	2,280	2,254	2,222	2,172	100%	103%	103%	102%	101%	99%	97%
⑧耳及び乳様突起の疾患	616	610	599	587	577	566	548	100%	99%	97%	95%	94%	92%	89%
⑨循環器系の疾患	5,625	6,076	6,347	6,504	6,486	6,404	6,342	100%	108%	113%	116%	115%	114%	113%
⑩呼吸器系の疾患	3,839	3,613	3,453	3,335	3,223	3,101	2,955	100%	94%	90%	87%	84%	81%	77%
⑪消化器系の疾患	7,897	7,858	7,703	7,512	7,318	7,093	6,802	100%	100%	98%	95%	93%	90%	86%
⑫皮膚及び皮下組織の疾患	1,838	1,778	1,729	1,683	1,623	1,558	1,489	100%	97%	94%	92%	88%	85%	81%
⑬筋骨格系及び結合組織の疾患	5,515	5,852	5,930	5,877	5,818	5,785	5,718	100%	106%	108%	107%	105%	105%	104%
⑭腎尿路生殖器系の疾患	1,978	2,001	1,991	1,964	1,922	1,869	1,813	100%	101%	101%	99%	97%	95%	92%
⑮妊娠、分娩及び産じょく	84	74	70	69	68	64	58	100%	88%	83%	82%	81%	76%	69%
⑯周産期に発生した病態	18	15	14	14	13	13	12	100%	84%	80%	79%	76%	73%	67%
⑰先天奇形、変形及び染色体異常	86	79	76	73	70	67	63	100%	92%	87%	84%	81%	77%	73%
※症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	486	488	486	478	467	454	441	100%	101%	100%	98%	96%	93%	91%
⑱損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,823	1,815	1,786	1,740	1,684	1,626	1,572	100%	100%	98%	95%	92%	89%	86%
⑳健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,295	4,282	4,234	4,181	4,109	4,006	3,872	100%	100%	99%	97%	96%	93%	90%
計	44,402	45,046	44,906	44,397	43,567	42,551	41,343	100%	101%	101%	100%	98%	96%	93%
計（精神及び行動の傷害のぞく）	42,840	43,518	43,421	42,960	42,189	41,239	40,090	100%	102%	101%	100%	98%	96%	94%

※疾患の分類は、ICD10疾患分類（世界保健機構が作成した国際統計上の分類）に基づく。

参照：患者調査 2017年度（厚生労働省）、男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口 2023年度推計』（国立社会保障・人口問題研究所）

2. 診療圏における患者の将来医療需要推計

(3) 将来入院患者推計

診療圏の入院患者数は2035年まで増加し、その後減少傾向にある。

傷病別にみると、ほとんどの傷病で増加が見られ、特に呼吸器系の増加率が高い。

一方、妊娠・周産期・先天奇形は減少傾向にある。

■疾患分類別 入院患者推計（診療圏）

※増減率減少：青色網掛（95%、90%、85%以下を区切りに濃淡）
増加率増加：オレンジ網掛（105%、110%、115%以上を区切りに濃淡）

傷病名	推定患者数							2020年からの増加率						
	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
①感染症及び寄生虫症	128	142	154	163	162	158	159.0	100%	111%	120%	128%	127%	124%	124%
②新生物	904	958	986	1,002	996	982	967.1	100%	106%	109%	111%	110%	109%	107%
③血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	37	41	45	48	48	47	47.2	100%	112%	122%	130%	129%	126%	127%
④内分泌、栄養及び代謝疾患	212	235	256	273	272	266	266.8	100%	111%	121%	129%	129%	126%	126%
⑤精神及び行動の障害	1,543	1,584	1,602	1,603	1,569	1,513	1,458.9	100%	103%	104%	104%	102%	98%	95%
⑥神経系の疾患	803	894	969	1,018	1,011	994	1,000.6	100%	111%	121%	127%	126%	124%	125%
⑦眼及び付属器の疾患	73	78	80	80	80	80	79.5	100%	107%	109%	109%	109%	109%	109%
⑧耳及び乳様突起の疾患	16	17	18	18	18	17	17.0	100%	105%	108%	110%	108%	106%	103%
⑨循環器系の疾患	1,481	1,681	1,860	2,010	2,012	1,974	1,988.7	100%	113%	126%	136%	136%	133%	134%
⑩呼吸器系の疾患	649	750	850	943	943	919	933.5	100%	116%	131%	145%	145%	142%	144%
⑪消化器系の疾患	421	457	486	505	501	491	489.8	100%	109%	115%	120%	119%	117%	116%
⑫皮膚及び皮下組織の疾患	73	82	90	95	95	93	93.6	100%	112%	123%	131%	130%	128%	129%
⑬筋骨格系及び結合組織の疾患	454	498	529	548	546	538	536.6	100%	110%	116%	121%	120%	118%	118%
⑭腎尿路生殖器系の疾患	326	363	393	416	416	409	410.7	100%	111%	120%	128%	127%	125%	126%
⑮妊娠、分娩及び産じょく	102	90	86	84	83	78	70.7	100%	88%	84%	82%	81%	76%	69%
⑯周産期に発生した病態	42	36	34	34	33	31	28.6	100%	84%	81%	79%	77%	73%	67%
⑰先天奇形、変形及び染色体異常	33	30	28	27	26	25	22.8	100%	90%	85%	82%	78%	74%	69%
※症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	91	104	116	127	127	124	124.7	100%	114%	127%	139%	139%	135%	137%
⑱損傷、中毒及びその他の外因の影響	878	987	1,084	1,156	1,152	1,131	1,138.3	100%	112%	124%	132%	131%	129%	130%
⑳健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	73	76	79	82	81	79	77.9	100%	105%	109%	113%	112%	109%	107%
計	8,341	9,104	9,745	10,233	10,169	9,947	9,912	100%	109%	117%	123%	122%	119%	119%
計（精神及び行動の傷害のぞく）	6,798	7,519	8,143	8,629	8,600	8,434	8,453	100%	111%	120%	127%	127%	124%	124%

※疾患の分類は、ICD10疾患分類（世界保健機構が作成した国際統計上の分類）に基づく。

参照：患者調査 2017年度（厚生労働省）、男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口 2023年度推計』（国立社会保障・人口問題研究所）

Ⅱ. 明石市立市民病院を取り巻く医療について

(市民病院を核とした地域医療の現状・将来需要等)

Ⅱ-2. 市民病院の現状と課題

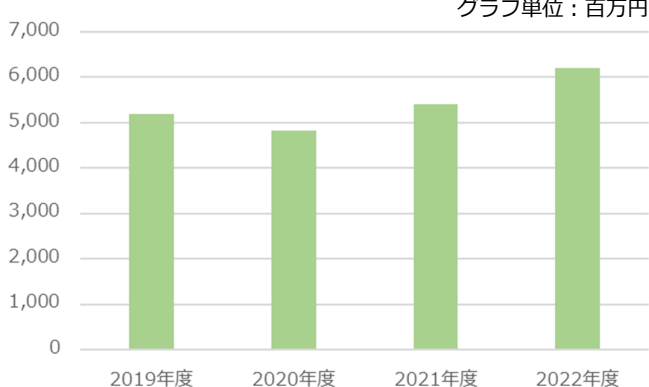
3. 明石市立市民病院の現状と課題（経営状況面）

3. 明石市立市民病院の現状と課題（経営状況面）

(10) 医業収益項目ごとの推移

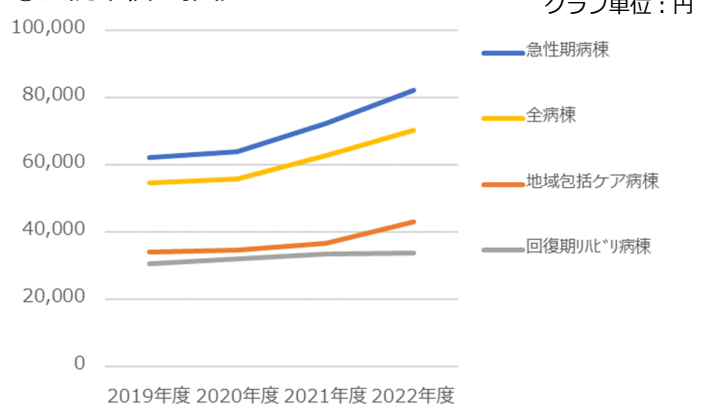
2022年度（コロナ影響下）と2019年度（コロナ禍前）を比較すると、入院収益は約10億円増加している。各病棟種別ごとの入院単価も増加傾向にある。

①入院収益の推移



(千円)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022-2019
入院収益	5,183,196	4,828,399	5,406,585	6,194,523	1,011,326

②入院単価の推移



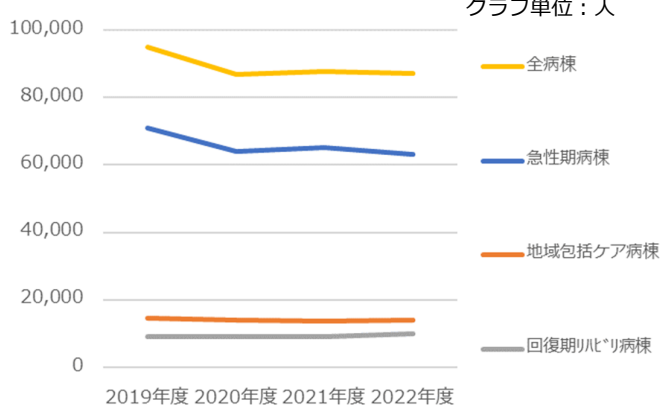
(円)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022-2019
急性期病棟	62,075	63,816	72,313	82,212	20,137
地域包括ケア病棟	33,965	34,585	36,720	42,921	8,956
回復期リハビリ病棟	30,364	31,924	33,389	33,786	3,422
全病棟	54,632	55,805	62,776	70,289	15,657

3. 明石市立市民病院の現状と課題（経営状況面）

(10) 医業収益項目ごとの推移

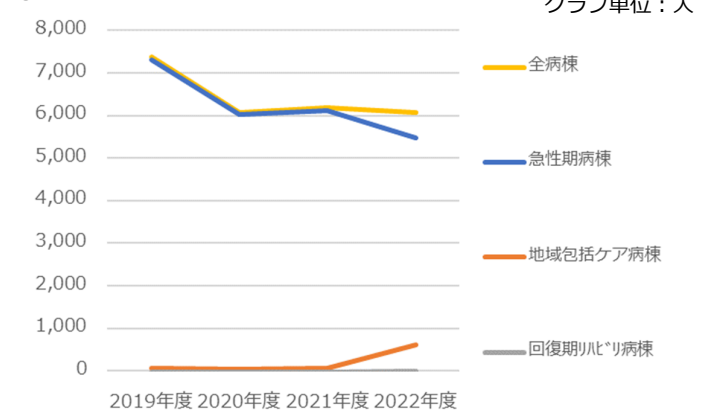
2022年度（コロナ影響下）と2019年度（コロナ禍前）を比較すると、延べ患者数については、急性期病棟、地域包括ケア病棟で減少している。
実患者数については、急性期病棟は減少しているが、地域包括ケア病棟は増加している。

③入院延べ患者の推移



(人)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022-2019
急性期病棟	70,924	63,897	65,164	63,037	-7,887
地域包括ケア病棟	14,754	13,933	13,659	14,084	-670
回復期リハビリ病棟	9,189	9,055	9,038	10,030	841
全病棟	94,867	86,885	87,861	87,151	-7,716

④入院実患者の推移



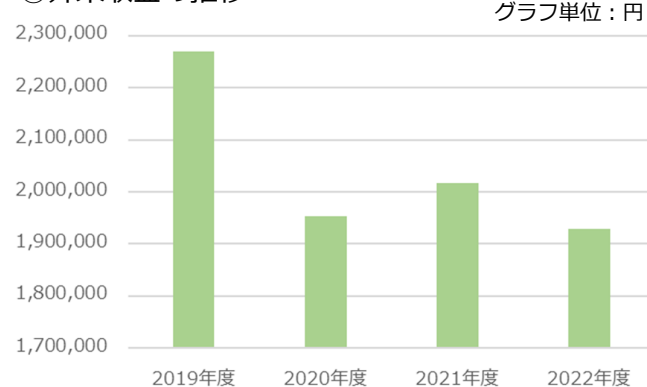
(人)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022-2019
急性期病棟	7,301	6,015	6,106	5,466	-1,835
地域包括ケア病棟	76	46	70	608	532
回復期リハビリ病棟	0	0	0	1	1
全病棟	7,377	6,061	6,176	6,075	-1,302

3. 明石市立市民病院の現状と課題（経営状況面）

(10) 医業収益項目ごとの推移

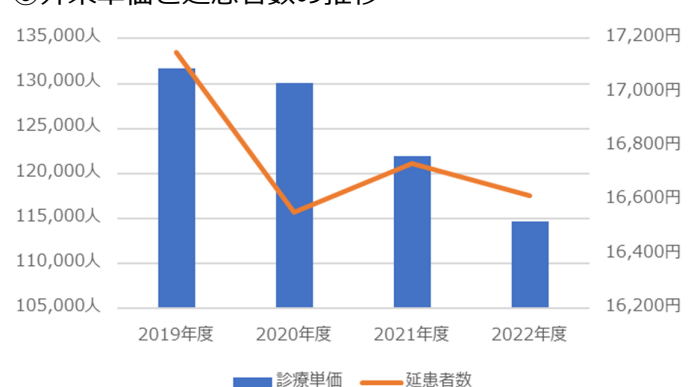
2022年度（コロナ影響下）と2019年度（コロナ禍前）を比較すると、外来収益は約3億円減少している。
診療単価及び延患者数においても減少している。

⑤外来収益の推移



(千円)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022-2019
外来収益	2,269,850	1,953,049	2,017,150	1,928,867	-340,983

⑥外来単価と延患者数の推移



(円)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022-2019
診療単価	17,090円	17,035円	16,766円	16,524円	-566円
延患者数	133,467人	115,685人	121,176人	117,582人	-15,885人